

電気柵等の設置状況

1、目的

ニッコウキスゲ等の貴重な高山植物をニホンジカの食害から守るため、協議会構成団体において八島ヶ原湿原やニッコウキスゲの群生地には防鹿電気柵等を設置する。

2、実施時期

令和7年5月上旬から令和7年10月中旬

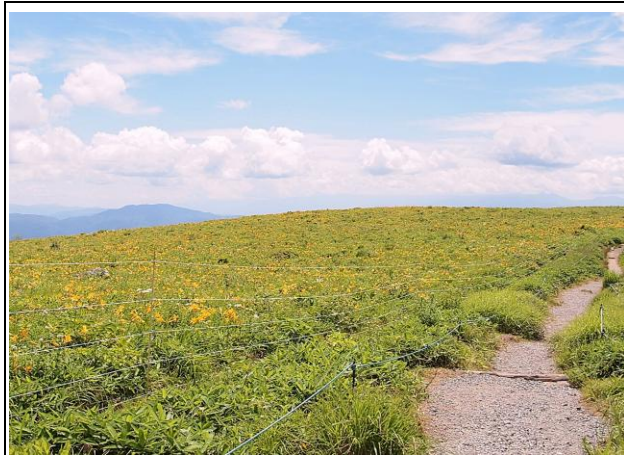
3、活動状況

設置場所	設置時期	概 要	設置主体
① インターチェンジ前園地	令和7年5月6日(火)	電気柵 約2.0km	下桑原牧野農業協同組合
② 車山地区	令和7年4月23日(水)	電気柵 約4.6km	車山高原観光協会
③ 車山肩地区	令和7年5月13日(火) 令和7年5月10日(土)	電気柵 約2.5km 〔うち0.5kmは 丈の低い二重柵〕	霧ヶ峰自然環境保全協議会 (霧ヶ峰湖東牧野農業協同組合) (霧ヶ峰高原牧野農業協同組合)
④ 富士見台西側	令和7年5月11日(日)	電気柵 約0.8km (二重柵)	霧ヶ峰自然環境保全協議会 (下桑原牧野農業協同組合)
⑤ 八島ヶ原湿原	常 設	鋼鉄柵 約4.0km	霧ヶ峰自然環境保全協議会
計		電気柵 約 9.9km 鋼鉄柵 約 4.0km 計 約 13.9km	

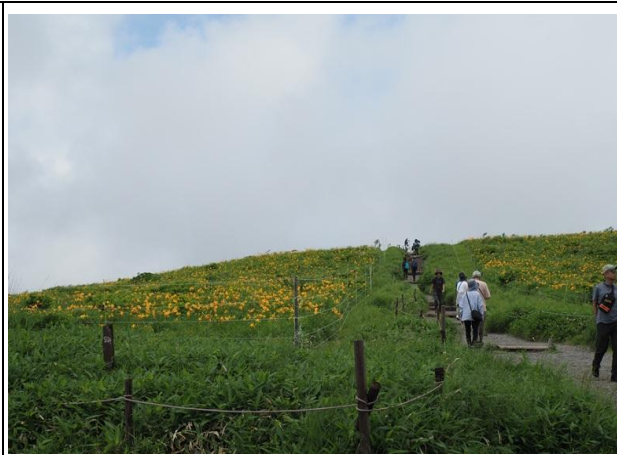
令和7年度のニッコウキスゲをはじめとする草花の開花状況は、令和6年度が短期間に一斉に開花したのと異なり、長い期間に少しずつ開花したため令和6年度ほどの豪華さはなかったが車山肩東・ロング・二重柵・R2拡張地区では多種の植物の開花が昨年度よりは長期間見られ観光客に楽しんでいただけた。

しかし、富士見台では電気柵のバッテリー劣化による大規模食害発生や、車山肩東で毎夜シカが柵内に侵入し見回りが欠かせない状況であった。シカも電気柵に慣れてきた様子であり、電気柵の継続的なメンテナンスが必須である。

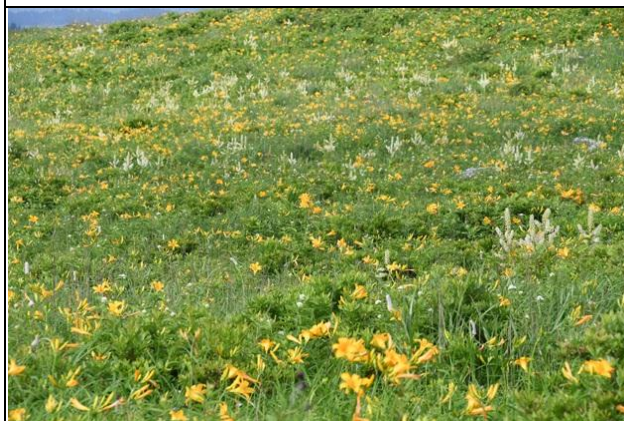
八島ヶ原湿原に設置している常設の鋼鉄柵は、霧ヶ峰自然保護センター及びパークボランティアの方が月1回点検を行い、引き続きその機能の維持に努めている。



車山肩 電気柵設置状況



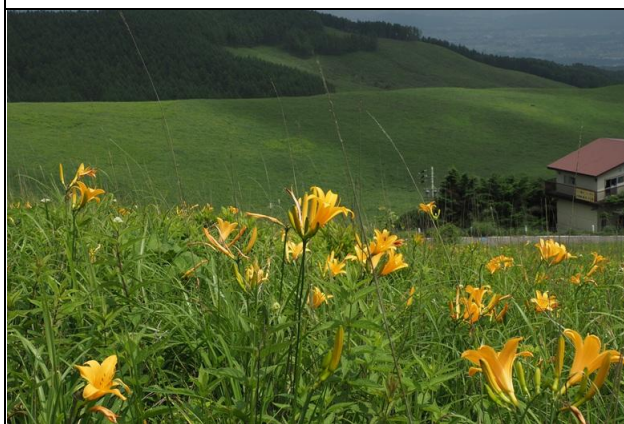
電気柵内 開花状況①（車山肩）



電気柵内 開花状況②（車山肩）



電気柵内 開花状況③（富士見台）



電気柵内 開花状況④（富士見台）